

陸連時報 三

2020
令和2年

12 月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

目 次

2020全国高等学校リモート陸上競技選手権大会・第66回全日本中学生通信陸上競技大会 報告……	246
【高校生対象】陸上審判に関するアンケート結果について……	248
日本陸連登録料の設定について……	250
第27回 JAAF コーチングクリニック開催要項……	251
陸協NEWS……	252
大会観戦ガイド……	254
事務局からのお知らせ……	257

公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

2020全国高等学校リモート陸上競技選手権大会、 第66回全日本中学生通信陸上競技大会 報告

新型コロナウイルス感染症の影響で全国高校総体（インターハイ）や各地の競技会が中止になったことに伴い、本連盟では各都道府県での大会の記録を集計して全国ランキングを作成する新たな形の競技会「2020全国高等学校リモート陸上競技選手権大会」を実施しました。中学生についても全日本中学校陸上競技選手権（全日中）などが中止になったことから、1955年から続いている「第66回全日本中学生通信陸上競技大会」を高校と同様の方式で、記録集計対象者を従来より大幅に増やして実施しました。いずれも、各都道府県の陸協、高体連、中体連など皆様のご協力により順調に進め、終了することができました。

主催は本連盟に加え、各都道府県陸協にもお願いし、新型コロナウイルスの影響で学校からの出場が難しい場合があることも想定して、クラブチームの所属や個人登録でも出場可能としました。そのため、中学は大会名も例年の「中学校通信」から「中学生通信」に変更しました。

高校はインターハイ実施の個人種目、中学はリレーを含めた例年の通信大会実施全種目を対象に、各都道府県がそれぞれ指定した競技会（原則として各都道府県1大会）の記録を本連盟に提出していただき、ワールドアスレティックス（WA）がワールドランキングなどで使用しているリザルトスコア方式によって記録をポイント化。種目ごとに、出場した中高生全員（記録なし、途中棄権、失格を除く）を対象にしたランキングを作成し、本連盟公式サイトの大大会特設ページに掲載する、という方法で行いました。

7月から、高校は9月19日、中学は10月11日までに全都道府県の指定大会が行われ、高校（都道府県によっては1人で複数種目出場可）は延べ68,439人（実数52,376人）、中学は個人種目（1人1種目）45,543人、リレー3,405チームがランキングに掲載されて「全国大会出場」となりました。競技レベルを問わず、これほど多くの中高生の名前が本連盟の公式サイトに載って全国の中での位置を知ることができ、各自で本連盟発行の記録証や参加認定証も作成（ダウンロード）できる、というのは初めての取り組みでした。コロナ禍により練習の場も、競技会出場の間も大幅に制限された中高生に、努力の成果を発揮してもらい、今後の陸上競技やさまざまな活動への意欲にもつなげてほしいという大会の趣旨もご理解いただけたものと思います。

リモート形式の競技会ならではの新たな可能性も感じられました。風力が関係する種目は風力の向きや強さに応じてポ

イントを加減する仕組みにより、追風2.0mを超える記録もランキング対象にでき、各競技者の条件の違いを考慮した比較も可能となりました。また多くの都道府県で、地元メディアが全国ランキングで上位に入った中高生を大きく取り上げてくださり、陸上競技を広くアピールする新たな機会となりました。記録証や参加認定証を大学入試の出願書類として提出した高校生の事例もあり、中高生の将来の道を開くことにもつながったようです。

一方で、課題も明らかになりました。実施や詳細を急に決めたこともあり、新たな方式でありながら本連盟から各都道府県のご担当者へ記録の提出方法などをお伝えしたり、全国の中高生にランキングの存在を広く知っていただいたりすることが十分にできませんでした。条件や開催時期が異なる競技会の記録を同一基準で比較することの公平性を問うご意見もありました。大会エントリー時に入力された氏名の字などに誤りが少なくないことや、今年度の登録を済ませないまま出場した競技者が数割にも及ぶ大会もあることなど、情報処理や登録制度に関わる課題も見えてきました。これらの課題は、初めて実施したからこそのことでもありますので、今年の経験を踏まえて検討、整備をまいります。

来年以降は従来通りにインターハイや全日中をはじめとした競技会が開催できることを願っていますが、同時に本連盟では、万単位の人数が参加しても実施できるリモート形式の競技会を、全国の中高生をつなぎ、挑戦を後押しするツールとして活用していくことも検討しています。各都道府県でご協力いただいた皆様、高体連や中体連の皆様、そして全国の中高生アスリートの皆様のご意見も聞きながら、「新たな形の競技会」の可能性を広げていきたいと考えています。



9月からは記録証（左）を画像（JPEG）形式で、またランキングが最終確定した日からは参加認定証（右）をPDF形式で作成できる機能もつけ、いつでも自由にダウンロードできるようにした。

全国ランキングの掲載人数

【都道府県別】

	高校リモート選手権		中学生通信大会	
	延べ人数	実人数	個人種目 (実人数)	リレー種目 (実チーム数)
北海道	3,160	2,347	3,944	277
青森	1,067	717	666	49
岩手	452	366	1,180	85
宮城	1,566	1,217	923	107
秋田	1,231	815	(大会中止)	
山形	295	206	608	50
福島	487	385	918	29
茨城	1,437	1,437	728	68
栃木	678	673	182	47
群馬	1,224	873	1,283	119
埼玉	4,471	3,225	370	73
千葉	2,495	2,493	2,296	92
東京	3,841	3,009	984	72
神奈川	3,968	2,821	813	118
山梨	610	493	495	31
新潟	2,214	1,485	350	114
長野	1,643	642	2,949	167
富山	855	581	520	26
石川	864	455	908	74
福井	610	1,058	851	55
静岡	1,077	935	852	57
愛知	3,599	3,589	648	34
三重	1,213	958	1,197	114
岐阜	1,256	906	1,018	85
滋賀	1,515	1,025	605	85
京都	1,623	1,300	1,143	16
大阪	4,437	3,578	937	96
兵庫	5,429	3,597	433	60
奈良	1,112	768	1,078	65
和歌山	762	471	671	68
鳥取	537	387	594	42
島根	546	366	781	58
岡山	884	884	1,237	88
広島	952	740	799	114
山口	532	517	1,192	75
香川	878	420	642	46
徳島	450	613	624	27
愛媛	572	420	1,003	55
高知	570	361	745	48
福岡	1,086	954	1,278	73
佐賀	767	504	1,263	69
長崎	1,553	1,022	1,014	74
熊本	582	447	1,663	83
大分	641	475	437	37
宮崎	848	633	900	63
鹿児島	1,230	774	1,327	79
沖縄	620	434	494	41
全国	68,439	52,376	45,543	3,405

※都道府県によって指定大会の形式が、全員出場可能な大会、標準記録や予選会により出場者を絞る大会など違うため、ランキング掲載人数も大きく異なっている
 ※高校は複数種目の出場も都道府県によって可能。中学の個人種目は大会要項で全国的に1人1種目と規定した

【高校リモート選手権 種目別】

種目	男子	女子
100m	9,516	4,899
200m	4,971	2,508
400m	3,619	1,690
800m	3,722	2,225
1500m	5,870	2,708
5000m/3000m	2,720	1,288
110mH/100mH	935	1,112
400mH	1,112	753
3000mSC	1,085	—
5000mW	329	261
走高跳	1,069	931
棒高跳	373	261
走幅跳	2,572	1,867
三段跳	1,025	640
砲丸投	1,327	857
円盤投	1,214	902
ハンマー投	640	441
やり投	1,479	1,148
八種競技/七種競技	200	170
計	43,778	24,661
総計	68,439	

【中学生通信大会 種目別】

種目	男子	女子
1年100m	3,334	3,262
2年100m	3,241	2,753
3年100m	2,370	1,787
200m	1,496	1,387
400m	1,187	—
800m	1,629	3,079
1年1500m	2,072	—
1500m	2,940	2,467
3000m	1,644	—
110mH/100mH	912	1,439
走高跳	627	856
棒高跳	332	—
走幅跳	1,805	1,941
砲丸投	1,106	1,164
四種競技	294	419
個人種目計	24,989	20,554
4x100mR	1,724	1,681
計	26,713	22,235
個人種目総計	45,543	
リレー総計	3,405	
総計	48,948	

【高校生対象】陸上審判に関するアンケート調査結果

本連盟では、全国の高校生を中心とする世代を対象に、陸上大会の審判や補助員に関するアンケートを実施いたしました。

超少子高齢化社会を控え、年間約5,000大会ある公認競技会を現状の公認審判員数で運営することは難しい状況になりつつあり、審判登録者数、特に若い世代の人材確保が課題となっております。これからの陸上界のために、審判制度の存続は必要不可欠であり、今まさに若い世代の力も取り入れた審判制度の改革が必要であると考えております。

現行の審判制度では、18歳以上が公認審判員の資格を有し、S級・A級・B級の三段階の種別に分類分けされております。（詳細は、公認審判員規程の通り）現在、本連盟ではC級審判（陸連登録をする16歳以上）の導入に向けて、検討を進めております。

本アンケートに協力してくださった皆さまは、アスリートとしてはもちろん、支える側としても、未来の陸上界を担う大切な世代であります。若さ溢れるエネルギーや新しい視点も取り入れながら、共により良い大会作りを目指していきたいと考えております。調査結果は、以下をご覧ください。

■実施概要

- *対象 高校生など
- *期間 7月16日（木）～31日（金）
- *回答方法 Google フォームでの収集
- *回答数 全1,007件
- *告知 本連盟公式SNS（Twitter、Instagram）を活用し、回答への協力の呼びかけを複数回に渡り実施。



■リンク先

*実施概要

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13913>



*調査結果

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/14136>



*公認審判員規程

https://www.jaaf.or.jp/pdf/about/rule/2020/p414_415.pdf



■調査結果

回答数：1,007件

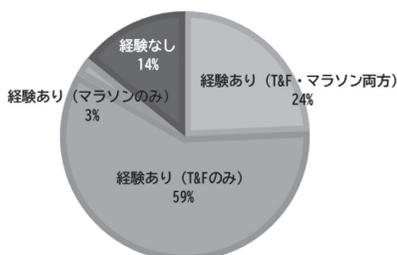
性別：男性696、女性307、無回答4

学年：1年生223、2年生341、3年生429、その他14

【補助員経験】

Q 陸上大会の補助員として大会運営に関わったことがありますか？

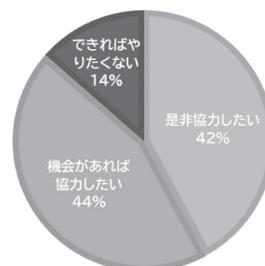
- 経験あり（T&F・マラソン両方）
- 経験あり（T&Fのみ）
- 経験あり（マラソンのみ）
- 経験なし



【補助員経験】

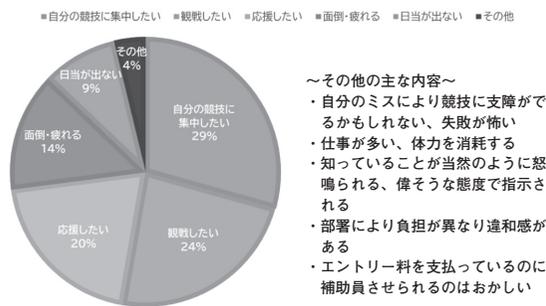
Q 大会補助員をまたやりたいですか？
※ 補助員経験のある方のみご回答ください。

- 是非協力したい
- 機会があれば協力したい
- できればやりたくない



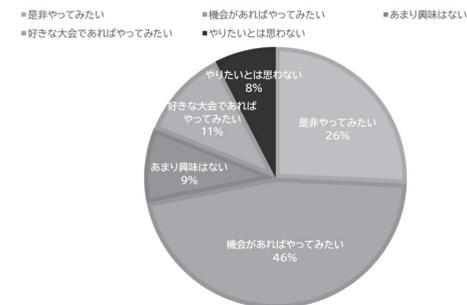
【補助員経験】

Q できればやりたくない理由は何ですか？
※前問でできればやりたくないと答えた方のみご回答ください。



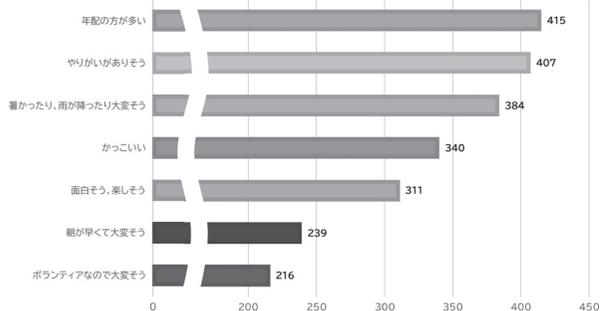
【審判への興味関心】

Q 将来、陸上大会の審判（競技役員）をやってみたいですか？



【審判のイメージ】

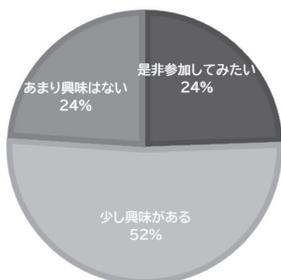
Q 陸上の審判（競技役員）のイメージを教えてください。
※複数回答可



【大会運営（意見交換）への参加意欲】

Q 将来の陸上大会の運営について、意見交換や議論する場があったら参加してみたいですか？

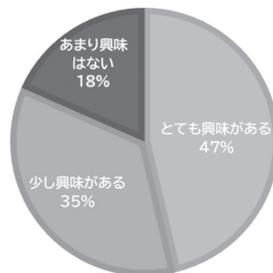
■是非参加してみたい ■少し興味がある ■あまり興味はない



【審判への興味関心】

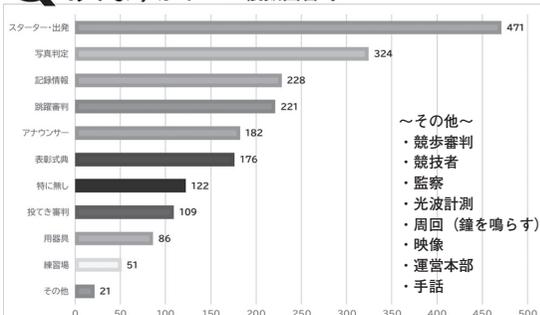
Q 陸上の審判（競技役員）に興味がありますか？

■とても興味がある ■少し興味がある ■あまり興味はない



【審判部署への興味関心】

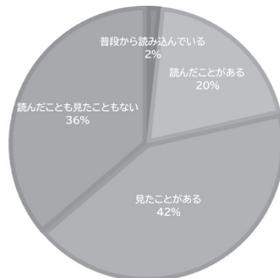
Q やってみたい審判（競技役員）の担当部署は、ありますか？ ※複数回答可



【ルールブックの認知度】

Q 陸上競技ルールブックを読んだことがありますか？

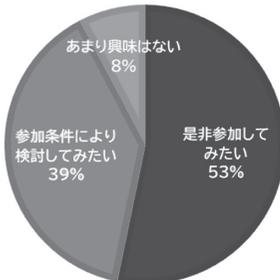
■普段から読み込んでいる ■読んだことがある ■見たことがある ■読んだことも見たこともない



【大会運営（補助員制度）への参加意欲】

Q もし、陸上の全国大会などで、高校生補助員として関わることのできる制度があったら参加してみたいですか？

■是非参加してみたい ■参加条件により検討してみたい ■あまり興味はない



※調査結果一部抜粋

日本陸連登録料の設定について

日本陸連登録料を新設

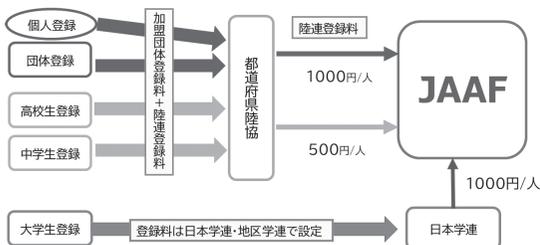
2020年9月9日の理事会において、2021年度より日本陸連登録料を新しく設定することが決定しました。決定しました内容は次のとおりです。

2021、2022年度

登録区分	日本陸連 登録料	加盟団体 登録料
一般(団体・個人)	1,000円/年	各加盟団体の設定による金額
大学		
高校・定通制	500円/年	
中学		

2023年度以降の登録料については改めて、検討することになりました。またこれまで設定していたデータバンク料に関しては2020年度で廃止になります。

会員の皆様にお支払いいただく方法としては、都道府県陸上競技協会(加盟団体)に加盟団体登録料をお支払いいただく際に、日本陸連登録料を上乗せした形でお支払いいただきます。



登録料設定の背景

1. 収益構造の改善と安定した事業運営をめざす

本連盟では、主催競技会の開催、強化活動、普及活動、審判養成や指導者養成、すべての人が陸上競技を楽しめる環境づくりなど、今後未来に向かって日本の陸上競技界を持続的に発展していくため、『陸上競技のよりよい環境の充実とさらなる活躍』を目指しています。

これらの事業を展開するために必要な財源は、スポンサー企業からの協賛金、各種の助成金・補助金、主催大会の入場料や放映権料などで賄ってきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、景気後退に伴うスポンサー企業の協賛金の大幅減額、主催大会の延期や中止などが相次ぎ、2020年度の本連盟の収入は当初予算より約6割減少する見込みとなりました。

2020年度は、あらゆる事業を徹底的に縮小・削減し、さまざまな経費削減にも努めておりますが、大幅な赤字が避けられない状況です。

東京オリンピック・パラリンピック終了後は協賛金や助成金・補助金が減額となることがこれまでも予想されてきました。今後現在の全国大会の枠組みなど各種事業を継続していくためには、安定した自主財源の確保が不可欠となります。

本連盟でも登録料設定の検討を2018年から進めておりましたが、スポーツ庁でも2020年3月に公表された「中央競技団体による中長期普及・マーケティング戦略策定・実行に向けた手引き」に、登録料収入を自主財源の一つとして重要な施策と位置づけています。

これまでのオフィシャルスポンサー依存を見直し、バランスの良い収益構造を目指し、コロナ禍のような突発的な事態にも対応できるようにするために、新たな自主財源確保の検討を早め、2021年度から登録会員の皆様から登録料納入にご協力頂くことを理事会で提案し、様々な意見を考慮し、金額等検討した上で、年間登録料の設定をしました。

尚、これまで加盟団体・日本学連登録料の中から、データバンク料として一般・大学100円/年、中学・高校50円/年を加盟団体・日本学連経由で本連盟に納入頂いておりました。2021年度から登録料設定に伴い、データバンク料は廃止とします。

2. 新たな会員メリットの創出とシステム構築による業務改善化

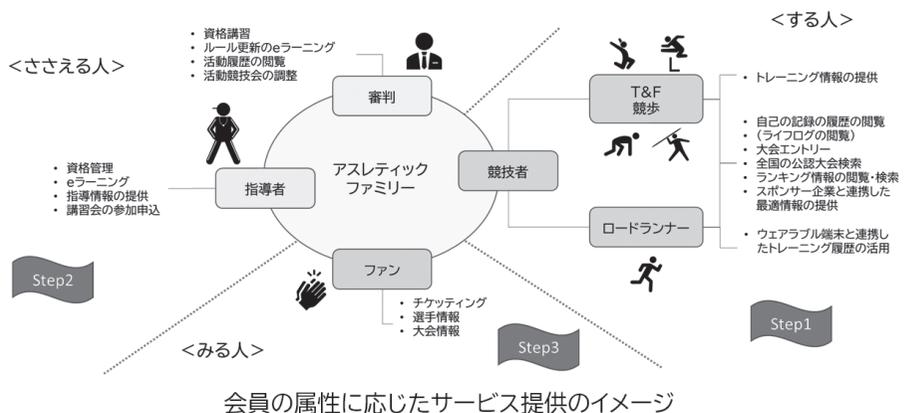
JAAF VISION2017で設定した、アスレティックファミリー拡大の目標を達成するため、今後の新たな会員メリットとして、会員の記録や活動履歴を蓄積し、会員の属性(競技者、審判など)に応じた情報提供を行うことを目指します。

競技者には自分のこれまで競技してきた記録や、ランキング、トレーニングなどの情報が提供できるように、審判には資格講習や、競技規則の更新情報や活動履歴、指導者には資格の取得講習や指導に必要な情報、講習会などの情報を提供していきたいと考えています。またゆくゆくは、ファンも会員化し大会のチケットやトップ選手の情報を提供していければと考えています。

そのための記録管理システムなどを登録料の一部を財源として、システム構築を行い、構築したシステムを使用して、加盟団体における登録受付・集金、大会参加者の申し込み・管理などの業務改善をはかることも目的としています。

【日本陸上競技連盟_登録料設定に関するQ&A】

- Q 登録料設定金額の根拠は何ですか。
- A 他競技団体の登録料の平均単価や、会員の皆様にご負担にできる限り大きなご負担にならないよう、段階的な金額設定にさせていただきました。
- Q 登録料の具体的な使途は何ですか。
- A 本連盟主催競技会(日本選手権・各種全国大会・WA指定大会等)開催を維持することや登録者の皆様にも少しでも有益で利用しやすい会員登録システム構築等の費用に使用させていただきます。
- Q これまでのデータバンク料はどうなりますか。
- A これまで設定していたデータバンク料は2021年度から廃止となります。
- Q 中学生・高校生のクラブチームとの二重登録はどうなりますか。
- A 二重登録の場合、それぞれの登録に対して、本連盟登録料が必要となります。
- Q 審判登録はどうなりますか。
- A 本連盟登録料は審判員の登録も含まれており、各都道府県陸協登録料と併せてお支払ください。
- Q 日本学連登録者における日本陸連登録料・都道府県陸協登録料の支払方法はどちらになりますか。
- A 日本陸連登録料は日本学連にお支払頂き、都道府県陸協登録料は登録陸協にお問い合わせください。



会員の属性に応じたサービス提供のイメージ

第27回JAAFコーチングクリニック開催要項

学び続ける指導者のために～多角的にコーチングを考える～

例年、指導者の皆様から大変好評をいただいております「JAAF コーチングクリニック」について、下記の要項で開催いたします。

今回は、「学び続ける指導者のために～多角的にコーチングを考える～」をテーマに掲げ、新しい生活様式下に対応したリモート形式の講習会を開催します。受講者の皆様の興味に合わせて講義を選択できるよう、リアルタイムで情報をお届けするライブ形式の講義と、ご自身の時間に合わせて受講ができるオンデマンドの講義をご用意いたします。各講師はそれぞれの分野で活躍されている方を予定しています。

このような社会状況の中、指導者の皆さまにおかれましては、様々なご苦労のもと、日々の指導にあたられていることと思います。指導者の皆さまにとって、有意義なプログラムを用意しておりますので奮ってご参加ください。

開催要項

主催：公益財団法人日本陸上競技連盟

協賛：アシックスジャパン株式会社

開催方法：①ライブ配信による講義

及び開催日 2021年1月11日（月・祝） 15：30～17：00

②オンデマンド配信による講義

2021年1月12日（火）～2月14日（日）

募集対象：JAAF公認指導者資格 有資格者（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ1・2・3・4）
小学校・中学校・高校・大学・実業団やクラブの指導者、陸上競技に興味のある方

定員：100名 ※先着順で定員に達し次第締め切ります
講習会内容：本講習は以下の必修講義と選択講義から構成されます。

①ライブ配信による講義（必修）：約1.5時間、1回配信

・「広く見る 重心を探る ～求められる指導者の役割～」

講師：山本浩氏（日本陸連指導者養成委員会 委員長/法政大学 教授）

・「アスリートの目線とコーチの視点」

講師：豊田裕浩氏（中央大学陸上競技部 コーチ/飯塚翔太選手専任コーチ）
飯塚翔太氏（ミズノ）

コーディネーター：山本浩氏（日本陸連指導者養成委員会 委員長/法政大学 教授）

②オンデマンド配信による講義（選択）：1講義あたり1時間程度、約1ヶ月の配信

・講義①「競技生活を医学的側面から振り返る」

講師：室伏由佳氏（順天堂大学スポーツ健康科学部 講師）

・講義②「女性アスリートの三主徴からRED-Sへ」

講師：能瀬さやか氏（東京大学附属病院 女性診療科・産科 医師）

・講義③「スポーツマンシップを通して世界に通じる人間力を磨く」

講師：中村聡宏氏（一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 会長/千葉商科大学サービス創造学部 専任講師）

・講義④「TSM式クラブ運営・指導の工夫」

講師：井上克俊氏（TSM代表）
高辻真氏（TSM ヘッドコーチ）

受講料：【Aコース】必修講義+選択講義2講義（計3講義の受講）

JAAF公認指導者資格 有資格者
5,500円(税込)/それ以外の方 7,700円(税込)

【Bコース】必修講義+選択講義 全講義（最大5講義の受講）

JAAF公認指導者資格 有資格者
6,600円(税込)/それ以外の方 8,800円(税込)

申込方法：<https://moshicom.com/47161/>

申込サイト



申込開始は11月2日（月）～12月20日（日）
但し、先着100名に達し次第締め切ります。

※お申込みはインターネットのみとなりますので予めご了承ください。

※【Aコース】を2選択の場合、申込み時に選択講義から2講義をお選びいただきます。

その他：(1)「JAAF コーチングクリニック」は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の「更新研修」として位置付けております。指導者資格をお持ちの方は積極的な受講をお願いいたします。

※【Aコース】【Bコース】いずれの受講でも更新研修の対象となります。

※受講(視聴)状況はシステム上で確認します。

(2)本講習会は、リモート形式（オンライン）での講習となりますので、それぞれで受講できる環境をご準備下さい。

※通信にかかる費用等はご自身でご負担ください。

(3)受講者の皆様には12月25日（金）ごろメールにて詳細をご案内いたします。

※coach@jaaf.or.jpからのメールが受信できるよう設定をご確認ください。

(4)本講習会におけるオンライン学習に使用するシステムは以下の通りです。

①ライブ配信による講義：WEB会議システム（ZOOM）

②オンデマンド配信による講義：オンライン学習システム（ひかりクラウドスマート スタディ）

(5)講習会に関するその他詳細については日本陸連HPへ掲載いたします。

<https://www.jaaf.or.jp/development/>

問合せ：公益財団法人日本陸上競技連盟 指導者養成課
コーチングクリニック係（田中・古田）

TEL：050-1746-8410（平日：10：00～18：00）
Mail：coach@jaaf.or.jp

日本陸連HP



大会観戦ガイド

日本陸上競技連盟主催・後援大会の中止・延期一覧

2020年10月30日現在

大会名	開催日	中止・延期（変更日程）
第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目	5月9日	延期(12月4日)
Denka Athletics Challenge Cup 2020	6月5日～6月6日	延期(11月3日)
2020全国高等学校リモート陸上競技選手権大会	7月1日～9月6日	新規
第66回全日本中学生通信陸上競技大会～アシックスチャレンジカップ～	7月1日～10月31日	新規
“日清食品カップ”都道府県小学生陸上競技交流大会	7月～11月	新規
第41回全日本マスターズ陸上競技選手権大会	10月2日～10月4日	延期
第75回国民体育大会	10月9日～10月13日	延期
第59回全日本50km競歩高島大会	10月25日	中止
第36回東日本女子駅伝	11月8日	中止
第10回神戸マラソン	11月15日	中止
第10回大阪マラソン	11月29日	中止
2020長崎陸協競歩大会	12月13日	中止
第28回全国中学駅伝大会	12月20日	中止
皇后盃 第39回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	1月18日	中止
天皇盃 第26回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	1月24日	中止
第75回香川丸亀国際ハーフマラソン	2月7日	延期（2022年2月6日）
第6回全国中学生クロスカントリー選手権大会	2月14日	中止
第32回全日本びわ湖クロスカントリー大会	2月14日	中止
第55回青梅マラソン	2月21日	延期
京都マラソン2021	2月21日	オンラインで実施
熊本城マラソン2021	2月21日	中止

第104回日本陸上競技選手権大会・ 長距離種目

▼期日：2020年12月4日（金）

▼競技時間：決定次第お知らせいたします。

▼会場：ヤンマースタジアム長居

〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区长居公園1-1

▼アクセス：

地下鉄御堂筋線「長居」下車。1番出口より500m（徒歩6分）

JR阪和線「鶴ヶ丘」下車。東出口より550m（徒歩6分）

JR阪和線「長居」下車。東出口より650m（徒歩7分）

▼種目：

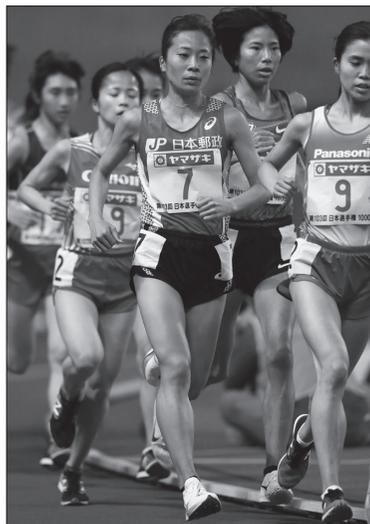
①男子：＜3種目＞ 5000m、10000m、3000mSC

②女子：＜3種目＞ 5000m、10000m、3000mSC

※本年に限り5000m・3000m障害物を同時開催といたします。

▼チケット情報

居住地域に制限なく観客を受け入れる予定です。チケット情報の詳細は大会ページをご覧ください。



昨年度の大会より
写真：フォートキシモト



昨年度の大会より
写真：フォートキシモト

▼問い合わせ先

【日本陸上競技連盟・事務局】

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階

TEL：050-1746-8410

【競技運営本部・大阪陸上競技協会】

（欠場届等競技運営に関する問い合わせ窓口）

TEL：06-6697-8899 FAX：06-6697-8766

▼大会ページ

※大会の詳細は日本陸上競技連盟公式WEBサイト内、
大会ページへ随時掲載いたします

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1535/>



▼第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目における
東京2020オリンピック競技大会男女5000m・10000m・
3000mSC日本代表選手内定について

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202010/06_172218.pdf



第74回福岡国際マラソン選手権大会

▼期日：2020年12月6日（日）

▼競技時間：12時10分スタート

▼会場（スタート・フィニッシュ）：
福岡・平和台陸上競技場

▼アクセス：

福岡市地下鉄「大濠公園」、「赤坂」駅下車徒歩8分

西鉄バス「大手門・平和台陸上競技場入口」下車徒歩8分

▼コース：福岡朝日国際マラソンコース（平和台陸上競技場・大濠公園～福岡市西南部周回～香椎折り返し）42.195km
マラソンの他に、15km、20km、ハーフ、25km、30kmの記録が公認される。ただし、完走した競技者が対象

▼問合せ先：福岡国際マラソン選手権大会事務局

（朝日新聞社西部企画事業チーム内）TEL：092-411-1137

▼エントリーリスト（国内招待選手） 写真：フォートキシモト



服部勇馬

（はっとり・ゆうま）

所属：トヨタ自動車

PB：2° 07' 27"



藤本拓

（ふじもと・たく）

所属：トヨタ自動車

PB：2° 07' 57"



高久龍

（たかく・りゅう）

所属：ヤクルト

PB：2° 06' 45"



川内優輝

（かわうち・ゆうき）

所属：あいおいニッセイ同和損保

PB：2° 08' 14"

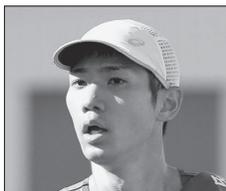


岡本直己

（おかもと・なおき）

所属：中国電力

PB：2° 08' 37"



作田直也

（さくだ・なおや）

所属：JR東日本

PB：2° 08' 59"



福田穰

（ふくだ・じょう）

所属：福岡陸協

PB：2° 09' 52"



大塚祥平

（おおつか・しょうへい）

所属：九電工

PB：2° 10' 12"



昨年度の大会より
写真：フォートキシモト

▼大会公式サイト：

<http://www.fukuoka-marathon.com/info.html>



▼日本陸連大会ページ

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1489/>



事務局からのお知らせ

◆◆陸上Bookweek ～ラストページまで駆け抜けて～集◆◆

今年の秋の読書週間である10月27日(火)～11月9日(月)の期間を「陸上Bookウィーク」として、陸上に関する本をご紹介します。

皆様が様々な本と出会い、普段とは異なる陸上の楽しみ方や、新たな陸上の魅力発見に繋がるようにと考えております。また、「アスリート編」でのアスリートによるおすすめ本の紹介では普段とは異なる選手の一面にもご注目ください！



■陸上Bookweek 第一弾「小説など」

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/14452/>



■陸上Bookweek 第三弾「絵本・漫画など」

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/14458/>



■陸上Bookweek 第二弾「伝記など」

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/14457/>



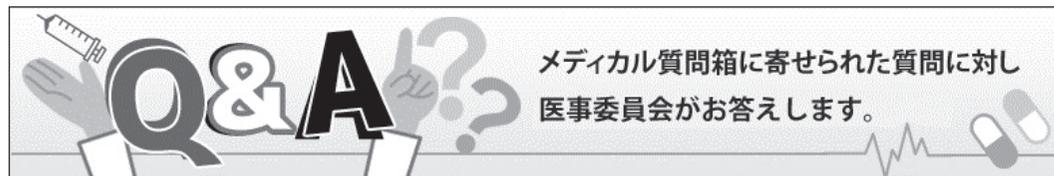
■陸上Bookweek 「アスリート編」

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/14461/>



◆◆医事委員会～メディカル質問箱～◆◆

皆様から寄せられた質問に対し、医事委員会ドクターがお答えしております。



…例えばこんな質問に答えます！

Ex) 「坐骨神経痛の症状が治りません、痛みの改善方法を教えてください。」

Ex) 「鉄剤注射はアンチ・ドーピング規則違反になりますか？」

<https://goo.gl/forms/3fpAw2zGJ9XE8fiu1>



◆◆大会のライブ配信動画を公開中◆◆

10月16日(金)から18日(日)に開催した「全国中学生陸上競技大会2020」「第104回日本陸上競技選手権大会・リレー競技 兼 全国高等学校陸上競技大会2020・リレー競技」、10月23日(金)から25日(日)に開催した「全国高等学校陸上競技大会2020 兼 U20全国陸上競技大会」の動画を公開中です。激戦の模様をもう一度、お楽しみ下さい。

■全国中学生陸上競技大会特設ページ

<https://www.jaaf.or.jp/jro/2020/>



■全国高等学校陸上競技大会特設ページ

<https://www.jaaf.or.jp/highschool/2020/>



事務局からのお知らせ

◆◆第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目 キービジュアル公開◆◆

#ナンバーワンしかいない

第104回
日本陸上 競技選手権大会・長距離種目
JAAF Athletics Championships
Distance Events
OSAKA 2020
東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会

会場 | ヤンマースタジアム長居 (大阪)
2020
12.4
104回日本陸上

山崎製パンは第104回日本陸上競技選手権大会を応援しています。

▼大会ページはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1535/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩 (陸連会長)
友永 義治 (陸連副会長)
八木 雅夫 (陸連副会長)
尾縣 貢 (陸連専務理事)
麻場 一徳 (陸連強化委員長)
風間 明 (陸連事務局長)
牧野 豊 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

大嶋 康弘
◇時報編集担当
繁田 進
石塚 浩
木越 清信
宮田 宏
石田 夢

陸連時報編集室

〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階
日本陸上競技連盟内
TEL : 050-1746-8410
FAX : 050-3588-1869